

118A パリで 25 万人がローマ教皇レオ 14 世を歓迎する見込み

パリでは、ローマ教皇レオ 14 世の特別なフランス訪問を迎える準備が進められています。教皇の姿を一目見ようと、首都には約 25 万人が集まると予想されています。遠方から訪れ、何時間も待つ信者もいます。

朝早くから、ノートルダム大聖堂の周辺には多くのボランティアが集まりました。フランス各地からやって来た彼らは、柵を設置し、バチカンの色である黄色と白で通りを飾りました。中には午前 5 時 30 分から準備を始め、一日中活動する予定の人もあります。

信者たちも早朝からパリに到着しました。モンパルナス駅では、さまざまな地域から来た聖職者や信者たちが、この出来事が自分たちにとってどれほど重要かを語りました。メキシコ人の神学生は、教皇がカトリック教会の最高指導者であり、カトリック信者にとって重要な精神的存在であると説明しています。

教皇を実際に見ることができるか分からなくても、この特別な出来事に参加したいという人もいます。ノートルダム大聖堂に近づき、教皇の到着時に鳴る鐘を聞きたいと願う人もいます。

午後 4 時、レオ 14 世はノートルダム・デ・シャン教会の前からパリ市内を巡る予定です。良い場所を確保するため、朝から待っている信者もいます。長時間待てるよう、折りたたみ椅子や飲み物、サンドイッチ、日差しを防ぐものなどを準備しています。

多くの人にとって、今回の訪問は教皇を歓迎し、フランスに来てくれたことへの感謝を伝える特別な機会です。

118B アルデシュの魅力、水によって形づくられた大地

アルデシュでは、何千年もの間、水がこの地域の景観を形づくってきました。地下には壮大な洞窟を作り、地上には渓谷を削り出し、現在もこの地域の火山岩の中を流れています。

アヴェン・ドルニャックでは、巨大な地下世界を見学することができます。勇気のある人はロープを使って50メートル下降し、それ以外の人には250段の階段を使います。この洞窟は約90年前、洞窟探検家ロベール・ド・ジョリーによって発見されました。内部では、多くの石筍や鍾乳石を見ることができます。これらは、何千年もの間、水が石灰岩の中をゆっくり通り抜けることで作られたものです。

地上では、水はアルデシュ南部にシャスザック渓谷も作り出したこの自然豊かな場所には、カヌーや急流スポーツを楽しむ人々が訪れます。観光シーズンを外せば、静かな環境の中で、自然と自分だけしかいないような感覚を味わうことができます。この場所は、自然環境やそこに生息する多くの生物を守るために保護されています。

また、この火山地域では、水は重要な資源でもあります。長年使われていなかった古い水源が、ユーグ・ボノムと仲間たちによって最近再び利用されるようになりました。水は岩の割れ目を通して地下深くから自然に上昇するため、ポンプでくみ上げる必要はありません。

この炭酸水は、かつて地元の人々によく知られていました。その復活によって、子どもの頃の思い出がよみがえる人もいます。現在では、有名レストランでも提供されています。

洞窟の奥深くから天然の水源まで、水はアルデシュの景観と文化遺産の中心的な存在なのです。

Questionnaire

1. 教皇を迎えるために、パリには何人くらい集まると予想されていますか。
 2. ボランティアたちはノートルダム大聖堂の近くで何をしていますか。
 3. なぜこの出来事はカトリック信者にとって重要なのですか。
 4. 何時間も待つために、どのような準備をしている人がいますか。
 5. なぜ多くの信者は今回の訪問に参加したいと考えているのですか。
-
1. アヴェン・ドルニャックにはどのようにして降りることができますか。
 2. 石筍や鍾乳石はどのようにして作られたのですか。
 3. なぜシャスザック渓谷は保護されているのですか。
 4. 古い水源の水はどのようにして地表まで上がってくるのですか。
 5. なぜこの水の復活は一部の住民にとって重要なのですか。